衛生管理者の資格取得
要点まとめ

Money Forward クラウド

※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

衛生管理者の資格取得 要点まとめ

衛生管理者は労働安全衛生法に基づく国家資格で、労働災害や健康障害の防止を担う職場の衛生責任者です。50人以上の労働者がいる事業場では、選任が義務付けられています。

衛生管理者の資格区分と対応業種

区分	対象業種	主な違い
第一種	すべての業種（有害業務含む）	全業種に対応、難易度はやや高め
第二種	オフィスや店舗等（非有害業務）	一般業種限定、合格率は高め

衛生管理者の主な業務内容

- 週1回以上の職場巡視
- 健康診断・衛生教育の実施管理

© MoneyForward, Inc.

衛生管理者の資格取得 要点まとめ

衛生管理者の主な業務内容

- 衛生委員会の運営
- 救急用品や作業環境の点検
- メンタル不調者への対応

試験概要と合格率（2022年）

区分	科目数	問題数	合格率	試験時間
第一種	5科目	44問	45.8%	3時間
第二種	3科目	30問	51.4%	3時間

合格基準は各科目40%以上、かつ総得点60%以上です。

© MoneyForward, Inc.

衛生管理者の資格取得 要点まとめ

勉強方法と目安時間

学習法	特徴	学習時間（目安）
独学	過去問と参考書中心。費用を抑えやすい	第一種：100時間 第二種：60時間
講座受講	通信・通学・1〜2日セミナーなど選択肢豊富	同上（補助教材あり）

衛生管理者の資格取得のメリット

- 転職に有利（法定で選任義務のある企業が多いため需要高）
- キャリアアップ（管理職昇進の条件になる場合あり）
- 職場の安全衛生管理に実務貢献できる知識が身に付く

© MoneyForward, Inc.